

R4年度 鳥羽志摩中学校春季体育大会(バレーボールの部)

1. 日 時 : 5月7日(土) 予備日 5月8日(日)

2. 会 場 : 鳥羽東中 開会式 8:40 (開館 7:50)

3. 使用球 : 人工皮革4号検定球カラーボール(モルテン)

4. 責任者

総務	競技	審判	会場	会長	養護	専門部長
上村	山本	東	川添	谷口	松尾	上村

5. ルール : 2022年度(財)日本バレーボール協会制定の6人制規則に則る。

6. 競技方法 :
- ・全試合3セットマッチとし、トーナメント戦で行う。
 - ・ベンチ入りは、監督、コーチ1名、マネージャー3名、選手12名以内とする。
(必要に応じ、教育的な配慮をする。)
 - ・監督、コーチは当該学校の教職員とする。ただし、学校長が認めた外部コーチ(継続的に指導にあたり、教育的配慮のできる社会人)のベンチ入りを認める。その際申請書を提出する。マネージャーは当該学校の教職員または生徒とする。
 - ・監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを所定の位置に付ける。
なお、監督、コーチは服装を統一することが望ましい。
 - ・審判・ラインジャッジ・点示・記録・アシスタントスコアラーは審判の割り当て表の通りに行う。
 - ・コートが濡れた場合は、基本的にコート内の選手がワipingをする。(タオルを持たせる。)モップが必要な場合は、副審の指示のもとベンチの選手で行う。
 - ・試合が連続するときは、15分の休憩をとる。
 - ・開閉会式においては、決められた服装で整列する。

7. 組み合わせ: 別紙

8. 新型コロナウイルス感染防止について: 別紙

10. その他 :
- ・表彰は、優勝・準優勝(表彰必要枚数2枚)とする。
 - ・上位入賞3チームを夏季総合体育大会のシードチームとする。
 - ・急病やケガが発生した場合には、救護担当者が応急処置を施すが、その後は顧問や引率者で速やかに医療機関へ移送する。
 - ・貴重品や荷物は各チームで責任を持って管理する。
 - ・ゴミは各チームで責任を持って持ち帰る。
 - ・開会式では、優勝旗返還を行わない。閉会式では優勝旗授与を行う。
 - ・選手宣誓は志摩中学校の生徒が行う。

令和4年度中体連春季大会新型コロナウイルス感染症対策資料

- 保護者の応援は生徒1名に対して保護者1名までとする。
- 参加選手、顧問、帯同審判は、朝の検温を行う。各チーム顧問は、生徒が集合した時点での体調チェックを行う（健康調査一覧表を記入し本部に提出する）。体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は保護者に連絡し、迎えに来てもらい帰宅させる。また、前日から体調がよくない場合は無理をさせない。
- 会場の換気は、窓を常に開けておく。ただし風が強いなど開けておくことが難しい場合は、試合の間などの時間を使って換気を行う。
- 試合や、練習をしている選手以外は、基本的にマスクを着用する。試合中、選手は基本的にマスクを外してプレーをする（マスク着用でも構わない）。
- 選手およびベンチスタッフとも、手洗い、うがい、手指消毒をこまめに行う。
- 記録を担当する選手は、自分の筆記用具を持参する。ラインナップチケットは記録席の筆記用具を使わず、ベンチで書いて提出すること。
- 試合開始と終了時にネットを挟んでの握手は行わず、エンドラインに整列したまま、礼をする。また、プロトコール時に、審判団との握手や主将同士の握手は行わない。
- セット間、タイムアウト時にボールのアルコール消毒を行う。ラインフラッグと得点板は、試合間にアルコール消毒を行う。
- 試合中、ベンチにいる監督、コーチおよび控え選手は、マスクを着用し距離をとって着席し、監督・コーチ・マネージャーおよび選手は、大きな声での指示や応援は控える。（指示は監督のみで、選手の応援は拍手程度とする）。観客も、声を出しての応援は控える。
- 体が接触するような円陣、ハイタッチなどの応援は控える。
- 水分補給用のドリンクは、各自で用意し試合中であっても回し飲みなどをしないようにする。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢によっては、延期や中止の判断をすることがありうる。さまざまな理由で、参加ができなくなったチームが出てきた場合は、その対戦相手は不戦勝として、大会は行う。